

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 枚方市

【基本情報】

フリガナ	カブ シキガ イジャレオン
法人名	株式会社REON
フリガナ	カブ シキガ イジャレオン
事業所名	株式会社REON
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
居宅介護	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
3.7 人	
ICT機器等導入完了日	令和 7年 1月 15日

※行・列の追加は行わないでください。

（１）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
職員間の情報伝達・情報共有	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
シフト表作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（２）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	③業務の統合化	macbook	1	
③タブレット	①作業の迅速化	ipad air	2	
⑧その他	①作業の迅速化	magickeyboard	2	
⑧その他	①作業の迅速化	applepencil pro	2	
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	②情報の共有化	care wing		

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
 - ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
 - ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
 - ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D÷業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	215件	2,580件	5分	215時間	22時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	10人	215件	2,580件	10分	430時間	43時間	
⑥給与業務	2人	10件	120件	7分	14時間	7時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		440件	5,280件	22分	659時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

2025年3月分の実績件数より算出

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

計画書提出時の発生件数が近いので、計画書より算出。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D÷業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	215件	2,580件	5分	215時間	22時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	2人	215件	2,580件	1分	43時間	22時間	
⑥給与業務	2人	10件	120件	3分	6時間	3時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		440件	5,280件	9分	264時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

2025年3月の実績より算出。

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

〔支援記録の作成〕スタッフが携帯での入力や操作方法に時間がかかっている方がいるため、具体的な算出はできておらず計画書のままとしています。〔職員間の情報伝達・情報共有〕訪問記録の提出がなくなったことで、会社に滞在する時間を省き、利用者情報の共有や伝達事項をソフトよりできるようになったため、スタッフの既読時間として算出。〔給与業務〕実績よりサービスごとに自動計算となったため、1名あたりのチェックにかかる時間を算出。

年間業務時間数削減率（％）

59.9%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率（％）

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

機器導入にあたり、雇用しているスタッフの年齢による心配があったので、1年間検討し、スタッフにも意見を聞きながら機器導入に至りました。入力の手速や、慣れるまで個人差が大きくなりましたが、紙での記録と併用などを行いました。また、少人数でソフトに関してわからない部分をデモ研修など社内で行いました。今までの紙媒体での方法に慣れているスタッフばかりの中、全員スマホであることから実現に至ったかと思えます。導入にあたり、コストはかかる一方ですが、少しでもスタッフに還元できればと思い、通信料の補填として慣れた個人の携帯で行うか、引き続き紙での継続かを選択してもらいました。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☒ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
☒ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐ 5 その他の効果があった。
☐ 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

ソフトウェア導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☒ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☒ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☒ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
☒ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
☐ 6 その他の効果があった。
☐ 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

記録用紙などの提出や、都度利用者さんの情報交換のための時間を設ける必要がなく、また給与計算、シフト作成においてもスタッフが自分で管理できるため、スタッフの負担が大きく軽減しました。また、管理者も毎日の実績確認に時差がなく、給与計算なども実績に伴い自動計算のため、スタッフ・管理者ともになれるまでの負担を考慮しても、導入したメリットは大きいと思います。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

書類の提出等を行うためにとっていた時間を、より研修やカフレス、メンタル面でのサポートなどに用いることができました。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--